

平成 30 年 5 月 9 日 (水)～5 月 11 日 (金)にてインテックス大阪で開催された『関西高機能プラスチック展』に自社開発のセルロースナノファイバーを出展

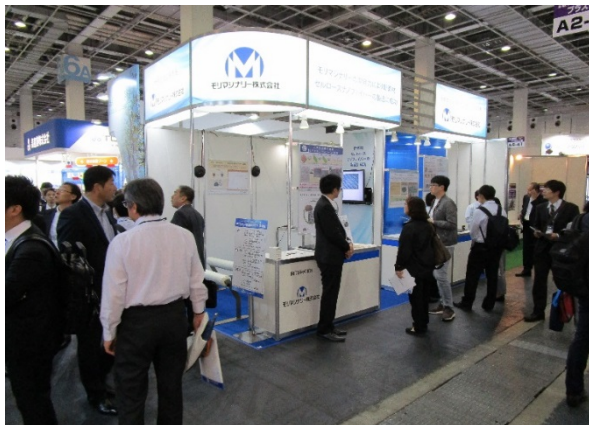
丸住製紙株式会社は、原料からパルプ製造そして紙生産を一貫して行う製紙メーカーです。このパルプ製造技術の強みを生かし、研究開発部にて調査・研究・試作を重ね、この度、新素材として注目されるセルロースナノファイバー（以下：CNF）製造技術を独自に開発しました。

開発に成功したCNFは、パルプ繊維を化学的に変性した後で機械解繊を行い、得ることができます。パルプ繊維を化学的に処理することでCNF製造において大きな課題となっている機械解繊のエネルギーを大幅に削減することができます。

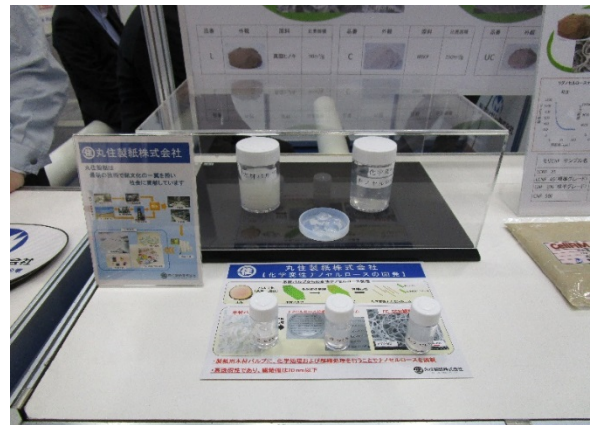
また、できあがったCNFは透明性が高く、解繊度合いが非常に高いものとなっています。

CNFサンプル提供は平成 31 年 2 月頃から予定をしており、今後は量産を視野に、まず実証プラントの設置を急ぎたいと考えています。

今回の展示は、共同研究を行っているモリマシナリー株式会社の展示ブースにて行いました。



【 共同研究をしたモリマシナリー(株)のブース 】



【 丸住製紙(株)が独自開発したCNFサンプルを展示 】

【お問い合わせ】

丸住製紙株式会社 〒799-0196 愛媛県四国中央市川之江町 826 番地

技術に関するお問い合わせ

研究開発部 担当：堀江、後藤
(メールのみの対応とさせていただきます)

広報に関するお問い合わせ

総務人事部総務課
TEL : 0896-57-2222

[お問い合わせフォームはこちら](#)

[お問い合わせフォームはこちら](#)